

■平成 27 年 3 月 21 日(土) 「鶴見緑地で春をさがそう！」

場所／鶴見緑地

天候／晴

スタッフ／8名

参加者／大人10名



観察内容/晴天に恵まれたものの、鶴見区役所主催の「春のウォーキングイベント」の開催と重なり、集合場所の噴水を行きかう人々のほとんどが「ウォーキング」の集合場所へと向かっていました。スタッフも「今日は参加者無しやなあ」と諦めかけていたのですが、集合時間になると10人の参加者があり、久々のフタケタに少々ビックリ！のスタートでした。

スタッフのあいさつのあと、近くで咲いているマンサクの花を観察し、大池に向かいました。冬の間、大池にいたカモたちはだいぶ少なくなりましたが、マガモ、カルガモ、ホシハジロ、ヒドリガモ、アオサギ、カイツブリなどが観られました。一瞬、カワセミが飛びましたが、説明する間もなく消えてしまい残念でした。

ゲートに入ったところのコナラの木でヨコヅナサシガメの幼虫を観察、後ろに回るとなんとコクワガタも見つかりました。満開のカンヒザクラは全開にはならず、半開の状態の下を向いて咲いています。サルスベリの木に直径5cmほどの穴が開いていました。キツツキの巣穴でしょうか？鶴見緑地にアカゲラがいるそうなのでアカゲラの巣穴かも？

風車の丘に向かう途中の小さな池でミジンコがたくさん観られ、実態顕微鏡で動いているミジンコを観てもらいました。体が透明でおなかの中まで見えました。

竹林の方でカラスがたくさん集まって騒いでいました。何だろうと思っていると「フクロウや！」との声！フクロウがカラスの大群に追われていたのです。鶴見緑地に野生のフクロウがいたのはビックリです。（写真は観察会の後、スタッフが鶴見新山で撮影したものです。）



竹林でヒラギナンテンの花が咲いていたので、黄色い花のおしべにペン先や細い木の枝などで触れてもらい、おしべが中央のめしべにくっついて受粉する瞬間を観てもらいました。

風車の丘は菜の花で一面黄色い絨毯に。花壇にはホトケノザ、ミドリハコベ、オオイヌノフグリなどの春の野草がたくさん観られました。

鶴見新山の麓の道を、早咲きのフユザクラやスモモの花を観ながら進んでいると、スタッフが大きなクワガタを発見！ヒラタクワガタでした。普段はなかなか見つからないのに今日は



簡単に見つかってラッキーでした。近くにいた子どもたちも集まって見ていました。

山の広場で、道沿いの満開のカワツザクラを観た後、今日のまとめをしました。参加者の皆さんに面白かったものを聞いてみるとやはりフクロウの発見が一番で、ヒラギナンテンの受粉や春の野草、中にはミミズのフンという声もありました。それぞれに鶴見緑地の春を見つけて楽しんでもらえたようです。